平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月22日

上場会社名　鉱研工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6297　URL　http://www.koken-boring.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 末永　幸紘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　管理本部長　(氏名) 大谷　幸彦　TEL 03-6907-7888

四半期報告書提出予定日　平成24年11月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,616	29.3	△77	―	△113	―	△119	―
24年3月期第2四半期	2,023	△25.1	△40	―	△82	―	△90	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△120百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△88百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△13.31	―
24年3月期第2四半期	△10.04	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,572	1,435	21.5
24年3月期	6,730	1,556	22.8

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　1,416百万円　24年3月期　1,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,950	18.0	127	209.5	55	―	80	―	8.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料5ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	8,970,111 株	24年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,029 株	24年3月期	3,029 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	8,967,082 株	24年3月期2Q	8,967,082 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
四半期連結損益計算書 ……8
四半期連結包括利益計算書 ……9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……12
（５）セグメント情報等 ……12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災復興需要とエコカー補助金という政策効果に支えられた緩やかな景気回復局面から、後半はエコカー補助金による需要刺激効果の弱まり、海外経済の減速を背景に、回復が足踏みする展開となりました。

こうした中、当社グループでは前連結会計年度より開始した「中期経営計画」に基づき、売上高の持続的拡大と収益体質の確立を基本方針として、グローバル展開の促進、市場・顧客開拓力の向上、得意分野の深化、損益分岐点の引き下げ、コーポレート・ガバナンスの確立に取り組んでおります。

当第２四半期連結累計期間は、工事施工関連の受注は大型工事案件の受注がなく前年同四半期に比べ減少したものの、ボーリング機器関連の受注がＯＤＡ案件の受注、更新需要、震災復興需要等により増加したことから、受注高は前年同四半期比14.7％増の2,835百万円となりました。

ボーリング機器関連が主として国内販売の増加により前年同四半期に比べ増加したことに加え、工事施工関連も大型工事案件の進捗により完工高が増加したことから、売上高は前年同四半期比29.3％増の2,616百万円となりました。また、国内外の売上高は、国内売上高はボーリング機器関連、工事施工関連ともに増加し、前年同四半期比19.4％増の2,153百万円となり、海外売上高はＯＤＡ案件が売上に寄与したことから、前年同四半期比110.4％増の462百万円となりました。売上高は増加しましたが、厳しい受注環境により価格が抑えられたこと等から原価率が上昇する結果となり、営業損失77百万円（前年同四半期は40百万円の営業損失）、経常損失113百万円（前年同四半期は82百万円の経常損失）、四半期純損失119百万円（前年同四半期は90百万円の四半期純損失）を計上いたしました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（ボーリング機器関連）

当セグメントにおきましては、海外販売は中国における鉄道建設向けの需要が引き続き停滞しているものの、当第２四半期連結累計期間には大型ＯＤＡ案件の受注を獲得し、また、国内販売は更新需要に加え、震災復興工事、防災工事を見込んだ需要が増加しつつあることから、当第２四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比43.1％増の1,898百万円、売上高は前年同四半期比23.5％増の1,478百万円となりました。しかしながら、厳しい受注環境に伴う販売価格の低迷等により原価率が上昇したことから、セグメント損失（営業損失）140百万円（前年同四半期は116百万円のセグメント損失）を計上いたしました。

（工事施工関連）

当セグメントにおきましては、当第２四半期連結累計期間は大型工事案件の受注がなく、受注高は前年同四半期比18.2％減の937百万円となりましたが、売上高につきましては既受注の大型工事案件が進捗し始めたことにより前年同四半期比37.8％増の1,137百万円となりました。売上高は増加しましたが、受注環境の厳しさから前年同四半期に比べ大型工事案件の利益率が縮小したことに加え、採算の厳しい海外ＯＤＡ工事の比重が高まったことにより原価率が上昇し、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比16.5％減の63百万円を計上いたしました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して158百万円減少し、6,572百万円となりました。

流動資産は、ボーリング機器関連においては生産高の増加により仕掛品が44百万円、原材料及び貯蔵品が43百万円増加し、工事施工関連においては第２四半期会計期間末での大型工事の完成により完成工事未収入金が339百万円、仕掛工事の進捗により未成工事支出金が137百万円増加しましたが、商品及び製品が162百万円、前渡金が50百万円、受取手形及び売掛金が主に回収により418百万円、現金及び預金も152百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して201百万円減少し、4,490百万円となりました。

固定資産は、減価償却の実施はあるものの、工事施工関連を中心に機械装置及び運搬具などで119百万円の設備投資を行ったことにより、前連結会計年度末と比較して43百万円増加し、2,082百万円となりました。

②負債の部

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して37百万円減少し、5,136百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金、工事未払金が支払いにより104百万円減少しましたが、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の借入増加326百万円などにより、前連結会計年度末と比較して230百万円増加し、3,457百万円となりました。

固定負債は、リース債務が38万円増加しましたが、退職給付引当金が主に定年退職者等への支給により59百万円、役員退職慰労引当金が支払により11百万円、長期借入金が約定弁済により210百万円、社債が償還により25百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して268百万円減少し、1,679百万円となりました。

③純資産の部

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は四半期純損失として119百万円を計上したことから1,435百万円となり、自己資本比率は前期末の22.8％から21.5％となりました。

ただし、株主資本の部においては、平成24年７月26日付けで欠損填補を目的とした無償減資を行ったことにより、当第２四半期連結会計期間の資本金は1,165百万円、資本剰余金は0円となり、利益剰余金は89百万円となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第２四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより529百万円となり、前連結会計年度末に比べ153百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、217百万円の支出（前年同四半期は130百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少76百万円、未成工事受入金の増加68百万円、前渡金の減少50百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失の計上113百万円、たな卸資産の増加119百万円、仕入債務の減少104百万円、役員退職慰労金及び従業員退職金の支給70百万円、法人税等の支払額25百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、59百万円の支出（前年同四半期は35百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、土地譲渡契約に伴う手付金収入30百万円であり、支出の主な内訳は、工事施工関連を主体に設備投資を行ったことによる有形及び無形固定資産の取得による支出87百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、135百万円の収入（前年同四半期は265百万円の支出）となりました。長期借入金は、50百万円の調達を行う一方、約定弁済により250百万円の返済を実行し、社債は25百万円を償還いたしました。短期借入金は787百万円の調達に対し、470百万円の返済を実行いたしました。また、当第２四半期連結会計期間では新たにファイナンス・リースとしてのセール・アンド・リースバックにより45百万円の調達を行いました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績予想につきましては、平成24年４月23日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成24年10月22日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

（連結業績予想）

売上高	5,950百万円	（前期比　18.0％増）
営業利益	127百万円	（前期比 209.5％増）
経常利益	55百万円	（前期比　―　）
当期純利益	80百万円	（前期比　―　）

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	783,013	630,439
受取手形及び売掛金	1,426,183	1,007,923
完成工事未収入金	257,896	597,762
商品及び製品	1,393,248	1,231,079
仕掛品	119,419	163,996
未成工事支出金	141,680	279,074
原材料及び貯蔵品	466,624	510,238
前渡金	58,778	7,873
その他	60,383	75,768
貸倒引当金	△15,280	△13,849
流動資産合計	4,691,948	4,490,306
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,351,566	1,351,566
その他（純額）	591,738	642,042
有形固定資産合計	1,943,304	1,993,608
無形固定資産	6,655	6,511
投資その他の資産		
その他	215,543	207,483
貸倒引当金	△126,849	△125,603
投資その他の資産合計	88,694	81,880
固定資産合計	2,038,655	2,082,000
資産合計	6,730,603	6,572,307

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,175,582	1,077,669
工事未払金	41,087	34,736
短期借入金	916,810	1,233,200
1年内返済予定の長期借入金	501,880	511,840
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未成工事受入金	60,569	129,151
賞与引当金	107,110	120,415
その他	373,995	300,511
流動負債合計	3,227,034	3,457,523
固定負債		
社債	50,000	25,000
長期借入金	905,200	694,300
退職給付引当金	698,976	639,867
役員退職慰労引当金	104,344	93,177
資産除去債務	10,991	11,059
その他	177,545	215,629
固定負債合計	1,947,057	1,679,032
負債合計	5,174,092	5,136,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,846,297	1,165,415
資本剰余金	1,687,943	－
利益剰余金	△2,159,462	89,988
自己株式	△1,243	△1,243
株主資本合計	1,373,534	1,254,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△208	△27
土地再評価差額金	162,100	162,100
その他の包括利益累計額合計	161,891	162,073
少数株主持分	21,084	19,517
純資産合計	1,556,510	1,435,751
負債純資産合計	6,730,603	6,572,307

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	2,023,417	2,616,686
売上原価	1,447,914	2,084,856
売上総利益	575,502	531,830
販売費及び一般管理費	616,209	609,353
営業損失（△）	△40,706	△77,523
営業外収益		
受取利息	654	485
受取配当金	37	37
貸倒引当金戻入額	4,525	2,810
賞与引当金戻入額	840	350
その他	8,353	5,168
営業外収益合計	14,410	8,851
営業外費用		
支払利息	27,406	29,471
支払手数料	159	471
為替差損	24,975	12,756
その他	3,807	1,653
営業外費用合計	56,348	44,353
経常損失（△）	△82,644	△113,025
特別利益		
固定資産売却益	68	－
債権受贈益	7,861	－
特別利益合計	7,929	－
特別損失		
固定資産売却損	587	－
固定資産除却損	200	0
特別損失合計	787	0
税金等調整前四半期純損失（△）	△75,502	△113,025
法人税、住民税及び事業税	13,228	7,735
法人税等調整額	329	180
法人税等合計	13,558	7,915
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△89,060	△120,941
少数株主利益又は少数株主損失（△）	984	△1,566
四半期純損失（△）	△90,045	△119,374

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△89,060	△120,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	337	181
その他の包括利益合計	337	181
四半期包括利益	△88,723	△120,759
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,707	△119,193
少数株主に係る四半期包括利益	984	△1,566

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△75,502	△113,025
減価償却費	65,779	69,837
有形及び無形固定資産除却損	200	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6,467	△2,676
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,646	13,305
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,257	△59,109
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,631	6,167
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△4,700	－
受取利息及び受取配当金	△691	△523
支払利息	27,406	29,471
為替差損益（△は益）	6,331	10,975
有形及び無形固定資産売却損益（△は益）	519	－
売上債権の増減額（△は増加）	866,209	76,856
未成工事受入金の増減額（△は減少）	86,360	68,581
前受金の増減額（△は減少）	△15,452	1,509
たな卸資産の増減額（△は増加）	△590,023	△119,606
仕入債務の増減額（△は減少）	△380,424	△104,263
前渡金の増減額（△は増加）	25,221	50,904
未払費用の増減額（△は減少）	△6,499	△43,751
その他	△77,426	△29,961
小計	△67,625	△145,309
利息及び配当金の受取額	691	518
利息の支払額	△27,676	△29,927
役員退職慰労金の支払額	△5,740	△17,334
法人税等の支払額	△29,671	△25,728
営業活動によるキャッシュ・フロー	△130,021	△217,781
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△35,477	△600
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,647	△87,033
有形及び無形固定資産の売却による収入	826	－
土地譲渡契約に伴う手付金収入	－	30,000
貸付金の回収による収入	120	－
その他	1,787	△2,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,392	△59,916

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	787,200
短期借入金の返済による支出	△504,779	△470,810
長期借入れによる収入	85,500	50,000
長期借入金の返済による支出	△221,240	△250,940
社債の償還による支出	△25,000	△25,000
セール・アンド・リースバックによる収入	－	45,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265,519	135,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,331	△10,975
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△437,263	△153,178
現金及び現金同等物の期首残高	1,032,715	682,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	595,451	529,363

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ボーリング機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,197,502	825,915	2,023,417	―	2,023,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,026	18	11,044	△11,044	―
計	1,208,529	825,933	2,034,462	△11,044	2,023,417
セグメント利益又は損失（△）	△116,677	75,563	△41,114	407	△40,706

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額407千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ボーリング機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,478,953	1,137,733	2,616,686	―	2,616,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,564	―	6,564	△6,564	―
計	1,485,517	1,137,733	2,623,251	△6,564	2,616,686
セグメント利益又は損失（△）	△140,644	63,111	△77,533	10	△77,523

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額10千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．　報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の「ボーリング機器関連」のセグメント損失に与える影響額及び「工事施工関連」のセグメント利益に与える影響額はともに軽微であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年７月26日付けで欠損填補を目的とした無償減資を行いました。この結果、当第２四半期連結会計期間において、資本金が680,882千円、資本剰余金が1,687,943千円それぞれ減少し、利益剰余金が2,368,825千円増加しております。

以上の結果、当第２四半期連結会計期間末における資本金は1,165,415千円、資本剰余金は０円となっております。

なお、株主資本合計金額には、著しい変動はありません。